

『たたら研究』

第31～35号 目次

第31号 (1990年12月)

古代東国に出現するシャフト炉の系譜	村上英之助
八戸鉄の流通について	齋藤 潔
島根県瑞穂町の「鉄穴興首石碑」の周辺	野原建一・森岡弘典
ソ連・コルヒダにおける古代の鉄生産	村上恭通
室町・江戸時代の鉄釘の冶金学的調査	荻山信行
幕末南部藩宮古の反射炉の生産過程計画	エーリッヒ・パウアー
〔書評〕佐々木氏の「炒鋼」説を疑う -「ローマの釘」と「金属学から見た古代の鉄」を読んで-	村上英之助
平成2年度たたら研究会大会報告 (竹広記)	

第32・33号 (1992年10月)

インドの製鉄史研究をめぐって	山田義明
破砕した鑄造鉄斧	野島 永
岡山県総社市久代製鉄遺跡群から発掘されたスラグと鉄片の解析	福武 剛
〈付1〉藤原製鉄遺跡出土スラグの軟化溶融実験結果と反応温度の推定	
〈付2〉直接法による生成スラグと介在物の成分に関する一考察	
About the Anatolian ancient iron metallurgy (アナトリアの古代鉄冶金について) A. Nejat Bilgen (A・ネジャト・ビルゲン)	
[[史料紹介] 大島善太郎『故大島高任閣下功績伝承録』	岡田広吉
〔特集 「炒説」説をめぐって〕	
1 寄書 古代の鋼製造法に関する検討の場をのぞむ	佐々木 稔
2 (続) 佐々木氏の「炒鋼」説を疑う	村上英之助
3 寄書(1) 村上氏の「書評(続く)・1. 承前」を読んで	佐々木 稔
4 寄書(2) 村上氏の「〈半〉間接法概念の提唱」に対する意見	佐々木 稔
平成3年度 たたら研究大会報告 (T. Ka記)	

第34号 (1993年12月)

「鳥取藩江戸回鉄御趣向」期間中における日野郡地元鉄山師の動向	影山 猛
古代韓国の砂鉄製錬問題	村上英之助
鉄滓による鉄関連遺跡の性格判定の見直し -1点の出土スラグの成分分析値では、遺跡の性格を断定できない-	福田豊彦
アリストテレスを誤訳したか?	中沢護人
遺構をはなれて製錬滓と断定できるか?潤崎遺跡出土鉄滓の場合?	佐々木 稔
〔書評〕『中世鑄物師史料』に見える「打釘」と「熟鉄」について-朝岡康二氏の所説を読む-	村上英之助
平成4年度たたら研究会大会報告	
平成5年度たたら研究会大会報告 (T. Ka記)	

第35号 (1995年12月)

11世紀・日本と中国の金属比価	村上英之助
いわゆる半地下式豎型炉の性格の再検討 - 杣沢・北沢両遺跡出土遺物の金属学的解析結果から -	赤沼英男
スリランカの伝統的製鉄とウーツ鋼	山田義明
たたら製鉄とその金属学	清水欣吾
慶州市隍城洞冶鉄跡における窯の機能について	梁 勝弼
「葉山禎作：『タタラ製鉄業の発展』日本の近世4 生産の技術、1992年1月、 中央公論社」に対するコメント	赤木祥彦
奇書 「鉄滓・鉄器の解析によって直接製鉄法は実証されたのだろうか」 - 福武 剛氏の論文をよんで -	佐々木 稔
韓国見学旅行	潮見 浩
平成6年度たたら研究会大会報告	
